

# こがくほう -古河公方公園- 公園だより

2022年10月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社  
古河公方公園(古河総合公園)  
茨城県古河市鴻巣399-1  
電話0280-47-1129

タカノハスキ

## ■いよいよ待ちに待った収穫です！

## どろんこクラブ「稲刈り」9/25



■9月25日(日)、どろんこクラブで稲刈りを行いました。待ちに待った収穫の日です。収穫直前で台風が2回も来てしまい、どうなることかと心配

しましたが、当日の天気は秋晴れ。最高の収穫日和でした！前日の雨の影響で、ホツケ田にぬかるみが残っていたものの、そこは子どもたちのやる気に火が付いたのか、想定より早い時間で稲刈りを終えました。あとは刈り取った稲を縛り、稲を天日干しにするための『稲木(いなぎ)』につるす作業です。



まずは、刈り取った稲を麻ひもなどで縛ります。縛った稲の束を半分に分け、縛った部分をハサミのようにひねり、稲木につるしていきます。このように、刈り取った稲を稲木につるし、天日干しにする工程を『稲架掛け(はさがけ)』と呼びます。収穫した稲を全部つるし終わったら、最後に御所沼のカモに稲穂を食べられないようネットを掛けて本日は終了。次回はいよいよ最後の作業『脱穀』です。お楽しみに！



## ■スキ無料配布

9/9~9/10

今年の十五夜は9月10日でした。管理棟の前では、9/9~9/10の2日間、毎年恒例のスキの無料配布を行いました。  
★十三夜は10月8日(土)です。



## ■秋の植物観察会

9/10



夏から秋へと変化が見え始める秋、もりもりクラブの川田いつ子さんを講師に迎え、いろいろな植物について楽しいお話を聞くことができました。

### 稲架掛け(はさがけ)とは？

刈り取って束ねた稲を棒などに架けて約2~3週間、天日(太陽光線)と自然風によってゆっくり乾燥させます。この自然乾燥を「稲架掛け」と言います。ゆっくり乾燥させることでお米が割れにくくなり、きれいなお米に仕上がるそうです。また、一説には、逆さにして天日にさらすことで、葉や茎に残っていた養分がモミに集まって後熟が進み、お米を炊いた時の味やツヤが豊かになるといわれています。

### ■後期あおぞら教室開始！

後期のあおぞら太極拳・ヨガ教室が、それぞれ8/31、9/15から始まりました。青空の下、気持ちいい汗を流し、心も体も健康になってくださいね！

## ●引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください●

- 新しい生活様式に基づいた行動(手洗いと手指消毒、3密の回避など)をお願いいたします。
- ・空いた時間・場所を選ぶなど、基本的な感染対策にご協力ください。

●公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索